

第 11 回 印刷産業環境優良工場表彰

総 評

第 11 回目を迎えた今回は、前回は若干下回る総数 54 工場からの応募があった。過去応募・受賞工場並びに ISO14001 認証取得、G P 認定取得の工場が総合的に評価が高かった。今回初めて挑戦した工場は意欲はあるものの応募票への記載方法に不備な点が多く、今後社会にアピールする観点からも改善が望まれる。全体的に V O C 排出抑制や 3 R 活動は十分に組み込まれてきており、省エネの意識も大変高くなっている。数値化による管理もできつつあるが、その結果を評価し、改善活動に結び付ける工場は少なかった。今回、大臣賞、局長賞推薦工場のレベルが高かったのも特徴的であった。

● 経 済 産 業 大 臣 賞 ●

日経印刷株式会社 グラフィックガーデン



代 表 者 名 林 吉男

工場所在地 東京都板橋区

所 属 団 体 全日本印刷工業組合連合会／(社) 日本グラフィックサービス工業会

● 授賞理由 ●

本工場は、東京都にある 2008 年に操業を開始した枚葉オフセット印刷機を有する中堅の総合印刷工場である。環境配慮をコンセプトに省エネや騒音対策、土壌汚染改質など最先端の技術が導入されている。工場の運営に当たっては経営者の強い取組み意思のもと、ISO14001、G P 認定工場などのマネジメントシステムを構築、目的目標の水準が高く P D C A が確実に回っている。5 S、提案、技能検定、表彰制度などの小集団活動も積極的で、業界のトップレベルの工場として運営されている。具体的事例として、デマンドコントロールによる印刷機の直接的制御や小集団活動により生産高電力原単位は 2010 年比 19% 削減、日常発注業務システムへの化学物質管理の構築、ゼロエミッション工場の実現、区役所 H P との連携による工場見学の受け入れなど、ハード・ソフト両面での高水準な活動が認められた。これらのことから、業界のモデル工場として総合的に判断して経済産業大臣賞に推薦するものである。

● 経済産業省 商務情報政策局長賞 ●

株式会社青葉堂印刷 本社工場



● 授賞理由 ●

本工場は、山形県にある主にカレンダーを製造している小規模のオフセット印刷工場である。工場周辺環境対策では、UV インキ化、水なし印刷、IPA レス化等の VOC 対策、色別表示による廃棄物管理の徹底、景観対策、外注レス等特徴ある対策を行っている。広域的環境対策では、数値による把握を徹底しており、細やかな省エネ・省資源活動、リサイクルの推進を実施するとともに、クライアント、地域住民に対する働きかけや社員自ら行う CO2 排出削減活動等の環境討議会の運営など、積極的な環境改善活動を行っている。また、ISO14001、GP 認定工場等バランスよくマネジメントされており、総合的に判断して経済産業省商務情報政策局長賞に推薦するものである。

代表者名 中村 隆志
工場所在地 山形県米沢市
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

加美電子工業株式会社 本社工場



● 授賞理由 ●

本工場は、スクリーン印刷、パッド印刷等による車載電装部品、光学部品等を製造する中規模スクリーン印刷工場である。工場周辺の環境対策は、UV インキの採用 (VOC 対策)、廃液のクローズド化、廃油のリサイクル化等印刷工場として十分な取り組みが実践されている。広域的環境対策では目標設定とマネジメント活動によりエネルギーや廃棄物の削減は売上比率 1% 削減の目標に対し順調に達成しており、廃プラは約 95% のリサイクルを達成している。環境コミュニケーション活動も積極的で、行政機関、顧客からの受賞が多々ある。環境に対する保全管理、改善及びコミュニケーション活動、並びに環境配慮製品の開発は印刷工場の模範となる取り組みであり、総合的に判断して経済産業省商務情報政策局長賞に推薦するものである。

代表者名 早坂 裕
工場所在地 宮城県加美郡
所属団体 全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

● 社団法人日本印刷産業連合会 会長賞 ●

株式会社アイカ ドリーム工場



代表者名 渡邊 照雄
工場所在地 愛知県小牧市
所属団体 印刷工業会

●表彰理由●

本工場は、愛知県小牧市に位置する中堅のオフセット印刷工場である。オフ輪における水なし印刷など工場の環境整備や製品・顧客対応に熱心に取り組んでおり、GP工場認定（GPマークの表示）、森林認証制度、カーボンオフセット、カーボンフットプリントへの取り組みなど積極的である。その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

株式会社千修 東雲生産センター



代表者名 下谷 友康
工場所在地 東京都江東区
所属団体 印刷工業会／
全日本印刷工業組合連合会

●表彰理由●

本工場は、準工業地域にある小規模のオフセット枚葉印刷工場である。省エネ対策、VOC対策、廃棄物削減等に向けた数値管理に優れており、動線に基づいた工場内レイアウトの工夫、工程の自動管理導入等の業務効率化、品質管理による省エネ・省資源、また全社員による周辺地域環境保全活動、環境管理手順書整備など積極的に展開している。その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

池田印刷株式会社 京浜島工場



代表者名 池田 幸寛
工場所在地 東京都大田区
所属団体
全日本印刷工業組合連合会

●表彰理由●

本工場は、都内に位置する小規模のオフセット枚葉印刷工場である。早期（2004年）にISO14001とISO9001の総合認証を受け、また同時期にCSRレポートの発行、またGP工場認定を取得するなど、小規模の事業所ながらその環境活動は積極的で、特に廃棄物削減、VOC排出抑制等に効果が上がっている。その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり同業種の他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

株式会社セイユー 本社工場



代表者名 大月 正雄
工場所在地 埼玉県八潮市
所属団体
全国グラビア協同組合連合会

●表彰理由●

本工場は、環境負荷の大きい小規模のグラビア印刷工場である。積極的に環境負荷低減活動に取り組んでおり、処理装置の導入や発生源対策によるVOC排出抑制の徹底、分別の徹底によるリサイクルの推進、GP認定取得によるユーザーへの環境配慮提案や信頼獲得等、総合的な対策を展開している。その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり同業種の他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

● 社団法人日本印刷産業連合会 奨励賞 ●

本10工場は、環境優良に努力を払うとともに改善が認められ、特にその活動に特色があることから、その業種の特殊性や企業規模をも鑑み、今後のさらなる環境改善を期待し、社団法人日本印刷産業連合会環境優良工場奨励賞に推薦するものである。

富士特殊紙業株式会社 筑波工場



代表者名 杉山 仁朗
工場所在地 茨城県石岡市
所属団体 印刷工業会

亜細亜印刷株式会社 長野本社工場



代表者名 藤森 英夫
工場所在地 長野県長野市
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

萩原印刷株式会社 戸田工場



代表者名 萩原 誠
工場所在地 埼玉県戸田市
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

東洋紙業株式会社 習志野工場



代表者名 朝日 卓之
工場所在地 千葉県習志野市
所属団体 フォーム工連/印刷工業会/全印工連

勝美印刷株式会社 立石工場



代表者名 米原 正信
工場所在地 東京都葛飾区
所属団体 (社)日本グラフィックサービス工業会

株式会社田中紙工 本社工場



代表者名 田中 眞文
工場所在地 東京都板橋区
所属団体 全日本製本工業組合連合会

株式会社三共シール 本社工場



代表者名 河合 貴之
工場所在地 愛知県名古屋市中区
所属団体 全日本シール印刷協同組合連合会

菅野包装資材株式会社 本社印刷工場



代表者名 菅野 弘司
工場所在地 兵庫県加西市
所属団体 全国グラビア協同組合連合会

株式会社新興グランド社 川口工場



代表者名 宮坂 一朗
工場所在地 埼玉県川口市
所属団体 全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

日本樹脂工業株式会社 朝霞工場



代表者名 長谷川 重則
工場所在地 埼玉県朝霞市
所属団体 全日本光沢化工紙協同組合連合会

選考経過

第11回表彰制度の応募要項、審査基準等については、今まで10回にわたる審査の経験を基に、平成24年1月より環境優良工場表彰審査委員会（奥継雄委員長）にて検討を重ね作成した。

選考方法については、第10回と同様に選択回答式による第一次審査と第二次審査を通過した工場が提出する記述式による選考の第二次審査の2回に分けて行うこととした。また、環境優良工場表彰審査委員会（以下・審査委員会）と環境優良工場選考委員会（以下・選考委員会）の2つの委員会により、公正な選考を実施することとし、選考基準については、社会的な評価に十分耐えられるような客観的な基準と各会員団体の特殊性、印刷産業の特殊性に十分考慮した基準とすることとした。

(1)審査委員会について

印刷産業の特殊性を考慮し、環境問題の専門家及び各団体の実状に詳しい団体派遣委員で委員会を構成し、応募工場と環境対応をより正確にかつ多面的に把握できる体制を整えた。

〈委員構成〉

・専門委員・会員10団体派遣委員・オブザーバー（経済産業省）

〈現地審査〉

専門委員・会員団体派遣委員・オブザーバー・事務局の編成で現地審査を実施。

(2)選考委員会について

客観性、公平性を考慮し、環境問題に詳しい学識経験者並びに有識者で構成する委員会とし、委員長を筑波大学教授の江前敏晴氏にお願いした。

〈委員構成〉

・学識経験者・専門家・マスコミ関係者・印刷産業関連業界・行政機関

〈選考委員会の開催実績〉

・平成24年8月20日（月）於：日本印刷会館会議室

(3)各賞の選考基準

□大臣賞について

環境対応の総合的な評価が最も優秀な工場であって、かつ環境優良化に継続的かつ積極的に取り組み効果を挙げており、受賞後も受賞水準が維持されると認められる工場を大臣賞候補として選定する。

□局長賞について

環境対応の総合的な評価が特に優秀な工場であって、かつ環境優良化に継続的かつ積極的に取り組み効果を挙げており、受賞後も受賞水準が維持されると認められる工場を局長賞候補として選定する。

□会長賞について

総合評価の高い上位ランクの工場の中で、設備・材料・環境負荷などの業界・団体の特異性を考慮の上、会長賞候補工場として選定する。

□特別賞について

際だった特徴をもって環境配慮への努力及び改善が認められる工場を候補として選定する。

□奨励賞について

業界団体の特異性、規模・地域性等を考慮し、各団体毎に最も優秀な工場、または、特色ある環境への取り組みが優秀である工場を奨励賞の候補として選定する。